# 滋賀・川田川原田遺跡

1　所在地　滋賀県守山市川田町
2　調査期間　一九八七年（昭62）九月～一〇月
3　発掘機関　守山市教育委員会
4　調査担当者　畑本政美
5　遺跡の種類　集落跡
6　遺跡の年代　古墳時代～奈良時代
7　遺跡及び木簡出土遺構の概要

川田川原田遺跡は守山市の東方、旧野洲川の東西分流地点の西側にあって、川田町集落を包囲するように分布する。遺跡は一九八七年に集落西辺において都市計画道路改良工事が計画されたのにともない、事前の確認調査により発見されたもので、これにより発掘調査を実施した。その結果、古墳時代中期を中心とする土壙・溝を検出し、これと同一検出面で奈良時代の溝一条を検出した。この溝からは土師器・須恵器と多数の木製品などが出土した。この土器の中に土師器一点と須恵器二二点の墨書土器が含まれており、うち八点は「宮殿」「倉向殿」「醜」「野□」（洲カ）などの文字が判読できる。木簡はこれらの土器とともに出土した。

（近江八幡）

8　木簡の釈文・内容

(1)　・稲一束必令持今□
　　・□　吉□
　　□

(130)×(20)×4　081

表面の文字は肉眼で確認できるが、裏面は赤外線カメラにより判明した。

（畑本政美）